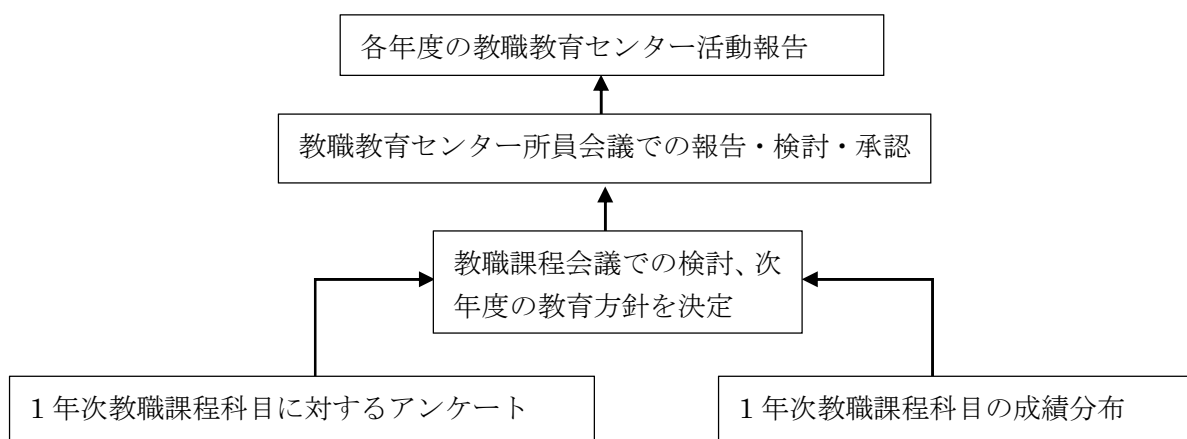


学年ごとの教育成果に対する検証と次年度に向けての方針

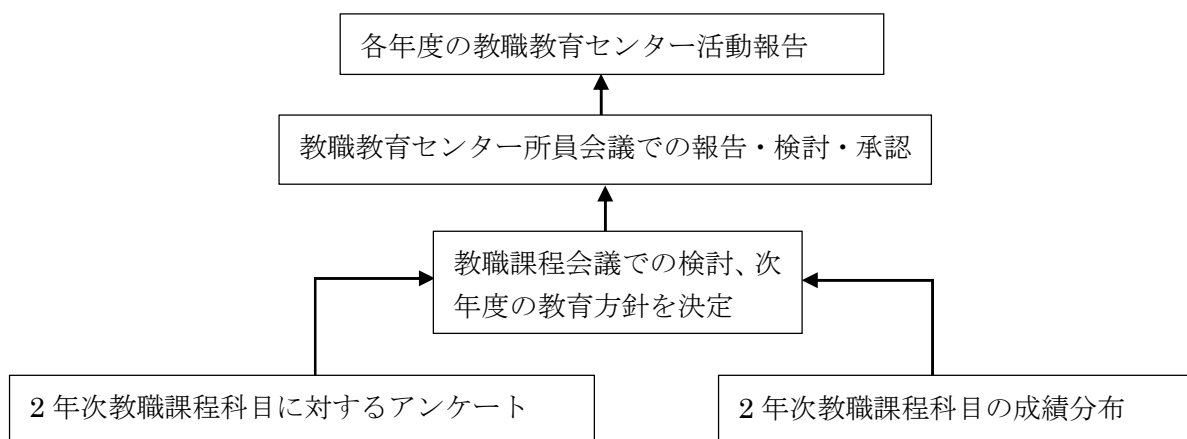
教職教育センターでは、すでに示した教育目標とカリキュラムツリーに従って活動を行っていますが、教員として開発される能力が学生自身の身についたか検証するために、まず学年ごとの成果に対する検証として、以下に示すように教職課程科目に対するアンケートと教職課程科目の成績分布を通して分析を行い、課題と改善策について検討し、続いて教職課程の取り組み全体に対する検証を教職履修者自己評価アンケート、教育実習における評価ならびに教育実践演習の評価などを通して分析を行い、取り組み全体に対する課題と改善について検討した上で、所員会議で次年度の方針を決定しています。

また、Tセンター支援室では、支援室の学生に対するアンケート、受験希望者に対する個別面ならびに談採用試験1次、2次試験の結果を通して分析を行い、取り組み全体に対する課題と改善について検討し、所員会議で次年度の方針を決定しています。

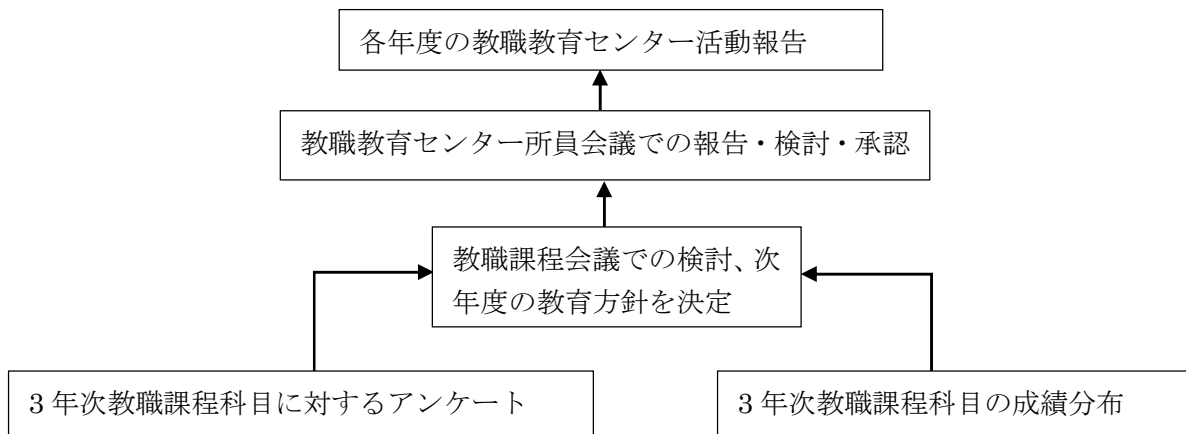
(A) 1年次科目の成果に対する検証



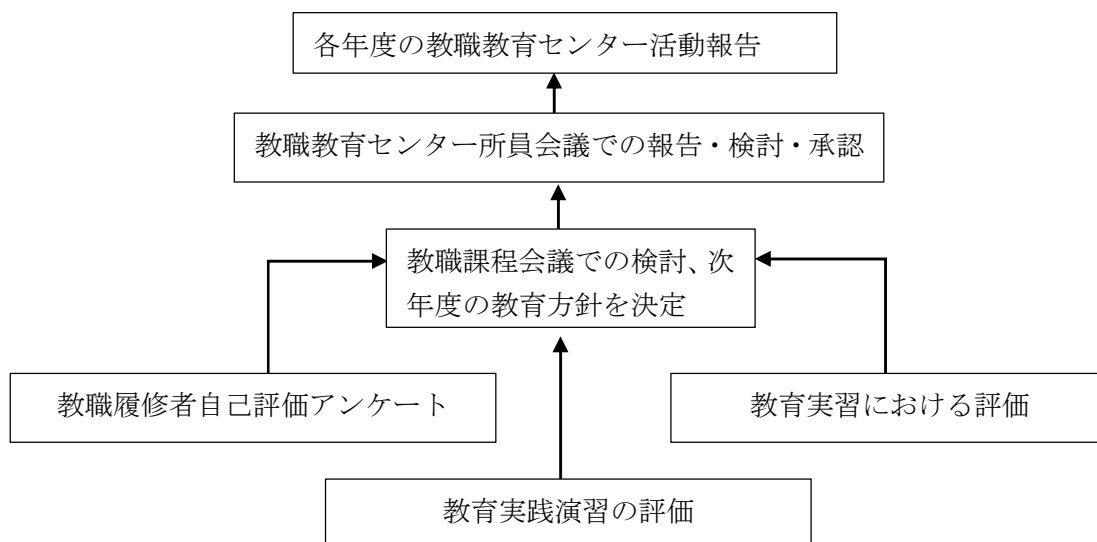
(B) 2年次科目の成果に対する検証



(C) 3年次科目の成果に対する検証



(D) 教職課程の取り組みに対する検証



(E) 支援室の取り組みに対する検証

